

## 豪ドルの下落について

大和証券投資信託委託株式会社

5月7日の豪ドル・円相場は81円04銭となり、前日6日の85円04銭から4.70%下落しました。この間、米ドル・円相場は93円63銭から91円54銭と2.23%の円高となっており、豪ドル・円相場の下落幅の方が大きくなっています。

豪ドル・円相場の下落の背景として、これまでの上昇幅が相対的に大きく、投資家のリスク回避姿勢が高まる局面では利益確定売りが出やすいことが挙げられます。2009年4月末から2010年4月末の期間で見ると、円に対して米ドルは3.79%下落、ユーロは4.38%下落していますが、豪ドルは22.68%も上昇しています。これは、世界的な金融危機の影響による豪州の景気後退局面が、好景気を維持した中国への輸出や、活発な住宅投資などにより軽微に終わったことで、2009年10月に、リーマンショック(2008年9月)以降の先進国の中では初めて利上げに踏み切り、その後も断続的な利上げを続けてきたことなどが好感されてきたためです。また、鉱物資源の有数な保有国であり、資源価格が上昇を続けてきたことも材料視されました。

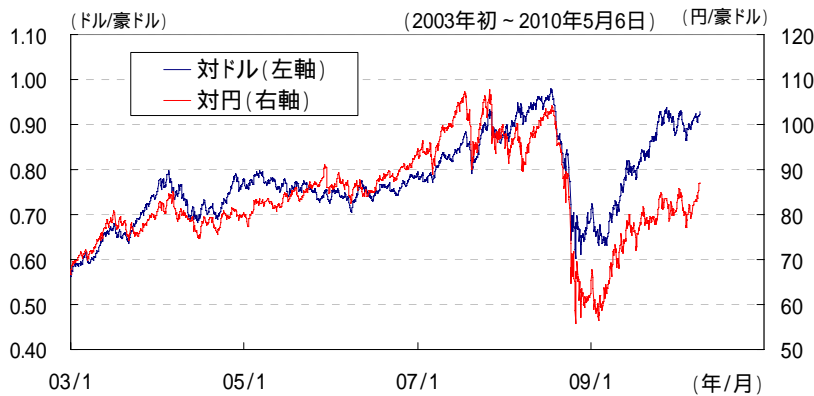
一方、市場のリスク回避姿勢が高まった要因としては、ギリシャの財政問題に対する不安の広がりが挙げられます。現在、欧州連合(EU)や国際通貨基金(IMF)を中心としてギリシャの財政問題解決に向けて対応策が打ち出されていますが、ギリシャに自国の財政状況を改善する意思と経済的な能力が備わっているのか、市場では疑問視する声が高まっています。さらに、ギリシャの問題がユーロ圏内の財政基盤の弱い国へ飛び火する可能性も否定できないことが、混迷の度合いを深めているといえます。

このような、ギリシャの財政問題を背景に欧州からの資金逃避の動きもみられ、6日の海外市場ではリスク回避の動きが加速しました。リスク回避の動きは、株式・商品相場の下落を誘発し、為替市場では、円は一時退避的なリスク回避通貨として独歩高となり、利益確定売りから豪ドル・円相場の下落幅が拡大しました。RBA(豪州準備銀行)が5月4日に、政策金利である翌日物金利の誘導目標を4.25%から4.50%へ引き上げたばかりであったことも、利益確定売りが強まりやすい要因となりました(昨年10月の利上げ開始からは6度目、利上げ幅は合計で1.50%)。

RBAは4日の利上げの際の声明文において、今後1年のインフレ率は目標値(2~3%)の半分より上になりそうであることや、金利水準の正常化はほぼ完了したこと、今後1年の生産の伸びは、これまでに実施された景気刺激策の効果が薄れていく中でも昨年を上回る可能性が高い、などの見通しを発表しています。また、RBAは本日(7日)に公表した「金融政策四半期報告」において、経済成長見通しとインフレ見通しを小幅ながら上方修正しています。金利水準の正常化はほぼ完了したものの、今後はインフレ抑制のための金融引き締めを強めながらも、好調な経済成長の下で緩やかなペースの利上げが継続されそうです。

ギリシャの財政問題に端を発するリスク回避の流れは、一時的には続く可能性もありますが、ギリシャ政府の追加緊縮財政政策がギリシャ議会で可決されており、合計1,100億ユーロにおよぶEUやIMFのギリシャへの融資実行はほぼ確実となっています。世界経済は新興国を中心におおむね好調を維持しており、投資家のリスク回避姿勢が長期間続くような投資環境ではありません。中長期的には、先進国の中でも引き続き高成長を維持し、相対的に高金利である豪ドル建債券への投資妙味は高いと考えています。

## 豪ドル相場



(出所)ブルームバーグより大和投資信託作成

以上

## お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

### 手数料等およびリスクについて

- 株式等の売買等にあたっては、「ダイワ・コンサルティング」コースの店舗（支店担当者）経由で国内委託取引を行う場合、約定代金に対して最大 1.20750%（但し、最低 2,625 円）の委託手数料（税込）が必要となります。また、外国株式等の外国取引にあたっては、現地諸費用等を別途いただくことがあります。
- 株式等の売買等にあたっては、価格等の変動による損失が生じるおそれがあります。また、外国株式等の売買等にあたっては価格変動のほかに為替相場の変動等による損失が生じるおそれがあります。
- 信用取引を行うにあたっては、売買代金の 30%以上で、かつ 30 万円以上の委託保証金が事前に必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、損失の額が差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。
- 非上場債券（国債、地方債、政府保証債、社債）を当社が相手方となりお買付けいただく場合は、購入対価のみお支払いただきます。債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動に加え、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。
- 投資信託をお取引していただく際に、銘柄ごとに設定された販売手数料および信託報酬等の諸経費、等をご負担いただきます。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。

### ご投資にあたっての留意点

- 取引コースや商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、等をよくお読みください。
- 外国株式の銘柄には、我が国の金融商品取引法に基づく企業内容の開示が行われていないものもあります。

商号等 : 大和証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号

加入協会 : 日本証券業協会、社団法人 日本証券投資顧問業協会、社団法人 金融先物取引業協会